

三和区宮崎新田市有地内産業廃棄物撤去について（第 3 報）

三和区宮崎新田市有地内の産業廃棄物撤去について、11 月分の廃棄物排出量をお知らせします。これにあわせて、今回は、11 月 18 日に開催した「現地視察会」の結果と、廃棄物の再資源化や最終処分状況についてもお伝えします。

11 月の搬出量につきましては、10 月の 1,730 t の約 1.4 倍に当たる 2,368 t となりました。9 月から 3 か月間の累計搬出量は 4,986 t と、推定処理量 11,200 t の約 44.5%となり、おかげさまで現場での撤去作業は順調に進んでいます。

今年度の現場作業は、当初の計画どおり 11 月末を以って終了し、現在、冬期の工事休止期間に入っています。この間、幸いなことに現場作業や運搬作業などにおいて、事故やトラブルは発生しませんでした。来年度も引き続き、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、作業の安全管理と廃棄物の適正かつ迅速な処理に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

1 推定処理量と搬出量（平成 29 年 11 月分）

（単位：t）

処理総量・処理先	木くず	コンクリートがら	プラスチック	金属	自然石	雑物類	汚泥
推定処理量 11,200 ①	1,055	2,204	10	174	200	77	7,480
当月搬出量 2,368	24	22	0	9	7	セメント資源化 最終処分場に埋立て1,997	309
前月搬出量 1,730	5	16	0	6	6	セメント資源化 最終処分場に埋立て1,462	235
累計搬出量 4,986 ②	29	38	0	15	13	セメント資源化 最終処分場に埋立て4,310	581
進捗率 (②÷①×100) 44.5%							

2 現場視察会の結果

11 月 18 日（土）に開催した現地視察会では、18 人の皆さんが参加され、現場で行われている掘削作業や選別作業を間近でご覧いただいたほか、木くずやコンクリートがらなどの資源物の状態もご確認いただきました。

参加者の皆さんからの主な質問と市からの回答は次のとおりです。

No.	質問	回答
1	・現場作業の今年度の終了時期と来年度の開始時期は、いつごろか。	・今年度の搬出は 11 月 30 日までです。来年度は 5 月からの予定です。
2	・水質検査のサンプル採取場所はどこか。	・採取場所は、市有地内と末沢池上流の市道赤坂線に架かる橋の下です。
3	・市有地内のアスファルトは撤去しないのか。	・今回の撤去対象は、県の代執行時に旧第 1 工区に残置された廃棄物で、アスファルトは撤去しません。
4	・作業中に粉じんが舞うと思うが、作業員の健康管理上の対策をどのようにしているか。	・粉じんが舞うことは殆どないが、作業員にはマスクの着用を指示しています。
5	・中間処理の方法が変更されたのは、プラスチックだけか。	・プラスチックは、長くて硬い管やホースがあり、地元の中間処理施設の破砕機では処理できないことから、富山市の最終処分場で埋め立てることとしました。
6	・雪解けで廃棄物が流出しないよう、対策を講じる必要があるのではないかと。	・施工者と検討しています。 ➢法面や廃棄物のシート掛け、廃棄物の安定勾配の確保、表面の転圧を行いました。



3 廃棄物の再資源化や最終処分の状況

実際に廃棄物を掘り返したところ、再資源化を予定していた木くずやコンクリートがらなどの量が想定よりも少ないことがわかりました。また、プラスチックの中に、建設資材用のパイプやホースなど丈が長く硬いものが多く含まれていたことから、予定していた施設で処理できないため、最終処分場に埋め立てることになりました。



木くず



コンクリートがら



自然石



金属



プラスチック



法面などをシートで被い廃棄物の流出防止策を実施



今年度、富山市の民間の最終処分場にトラック延べ 443 台、4,310 t の廃棄物を埋め立てました

4 騒音測定と水質検査結果

別紙のとおりです。

【問い合わせ先】 不明な点等がありましたら、以下の部署へお問い合わせください。

① 三和区総合事務所 市民生活・福祉グループ 電話 025-532-2323

② 生活環境課 施設整備係 電話 025-520-2088